

I 推進施策

1 主体的で創意に満ちた教育活動の推進

- (1) ふるさと教育・キャリア教育の充実
- ① ふるさとの理解や人々との関わり合いを通して、ふるさとへの愛着を深め、ふるさとの将来を支えていこうとする強い気概をもった児童生徒を育てる。
 - ② 学校間・校種間の連携・接続や地域社会との連携・協働により、多様で魅力ある体験活動等を推進し、地域に根ざしたキャリア教育の充実を図る。
 - ③ 様々な教育活動において、問題を発見し、他者との関わりを通して、主体的に問題を解決していくプロセスを重視することにより、“「問い」を発する子ども”の育成を図る。
- (2) 特色ある学校を創造するカリキュラム・マネジメントの充実
- ① 児童生徒の姿や自校の特長と課題、地域の実態を踏まえた学校教育目標を設定し、家庭や地域社会と共有する。
 - ② 学校教育目標の実現に向けて、育成を目指す資質・能力を明確にし、教科等横断的な視点で教育の内容等を組み立てる。
 - ③ 児童生徒や地域の実態に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立する。
 - ④ 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図る。
 - ⑤ 学校評価等の情報を積極的に公開し、家庭や地域社会との連携の下、学校運営の改善・充実を図る。
- (3) 住みよい学校の実現
- ① 規律ある集団の中で、受容的な態度や共感的な人間関係を大切にし、信頼し合える関係を築く。
 - ② 一人一人が自己の存在感を実感しながら、落ち着いて学校生活を送ることができる環境を整える。
 - ③ 家庭や地域社会及び関係機関等と連携・協働して学校安全の充実を図り、安全で安心な学校づくりに取り組む。

2 心豊かで、たくましい児童生徒を育む指導

- (1) 生き方を探求し自立できる児童生徒の育成
- ① 自校の児童生徒の実態から身に付けさせたい力を焦点化し、特別活動を要としながら、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育の充実を図り、社会的・職業的自立に必要な基盤となる資質・能力を育てる。
 - ② グローバル社会を生き抜くための基盤となるよう、ふるさとや異文化への理解を促進するとともに、多様な価値観をもつ他者と協働しながら問題を解決する力、英語による発信力等の育成を図る。
 - ③ 自主的、実践的な集団活動を通して、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己実現を図ろうとする態度を養う。
- (2) 一人一人の自己実現を支える生徒指導
- ① 日常の共感的な触れ合いや観察、計画的な教育相談等により、一人一人について多面的・総合的に理解を深め、児童生徒との信頼関係を築く。
 - ② 自校の実態に即した共通実践事項に基づき、全教職員による協力体制・指導体制を築き、集団の中での自己有用感を高める指導等により、規範意識の醸成や社会性の育成を図る。
 - ③ 全教職員による組織的かつ迅速な対応と、家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協働により、生徒指導体制の充実を図り、児童生徒の健全な成長を促進する。
- (3) 豊かな心と健やかな体の育成
- ① 様々な人や社会、自然等と直接触れ合う体験活動を充実させ、自ら考え行動し、粘り強く取り組む態度を育てる。
 - ② 自校の道徳教育の重点目標を明確にした全体計画及びその別葉等を整備・活用し、教育活動全体を通じて組織的で一貫した道徳教育を展開することで、児童生徒の道徳性を養う。
 - ③ 家庭や地域社会及び関係機関等と連携し、体力向上や健康的な生活習慣の定着を図るとともに、自ら危険を予測・回避する能力や態度を育てる。